

会 議 録

会議の名称	長期計画起草委員会（第４回）福祉と健康		
事務局	企画財政部企画政策課企画政策係		
開催日時	平成２７年７月３０日（木）午後６時～午後８時２５分		
開催場所	西庁舎 第５会議室		
出席者 （３人）	リーダー	志田 尚紀	委員
	副リーダー	本木 治子	委員
		高橋 雅栄	委員
欠席者	岡本 鮎実 委員		
事務局	企画政策課長	水落 俊也	
	企画政策課長補佐	中田 陽介	
	企画政策課係長	廣田 豊之	
	企画政策課主任	工藤 真矢	
	有限責任監査法人トーマツ	堀井 敬太	
傍聴の可否	㊟	一部不可	不可
傍聴者数	０人		

【会議次第】

- 1 長期計画審議会からの意見に対する後期基本計画（案）への反映について
- 2 後期基本計画（素案）について《主な事業と成果・活動指標》
- 3 その他

※第３回起草委員会は、７月１９日（金）締切だったが、修正がなかったため、確定とする旨確認した。

【会議結果】

- 1 長期計画審議会からの意見に対する後期基本計画（案）への反映について《審議会資料No.19》

前回第５回審議会（7/13）で諮った案件であるが、各起草委員会で意見がある部分について引き続き議論し、その後、審議会を開催し、委員全員でオーソライズし中間答申とすることとした。

○主な意見

- ・０歳から３歳までの未就園児がいる家庭（専業主婦家庭など）にアンケートを取ったところ、保健士訪問で、今自分が使える地域および行政の子育て支援はどれなのかわからない人が多かった。また、すでにもらっている「のびのび小金井っ子」の中から０歳児がすぐ使える支援を案内してほしいという意見が多かった。あわせて、転入時に子どもがいる家庭には「のびのび小金井っ子」を渡してほしい。（計画に入れるという

ことではなく、事業の中で対応いただきたい内容)

2 後期基本計画（素案）について《主な事業と成果・活動指標》 《起草資料 8》

○事務局より説明

- ・主な事業、成果活動指標は、原則、前期からの継続で設定しており、前期で事業が終了したものなどは、後期で新しい事業に変更している。
- ・主な事業については、施策についてのトピック的な事業であり、原則、1 施策 1 事業を挙げている。
- ・その主な事業と対になっているのが、成果活動指標であり、事業の達成度合い、施策の達成度合いについて、原則数値で目標を示している。

○主な意見

施策 53：介護保険事業の充実

- ・地域密着型サービスが具体的にどのようなものわからない。例を挙げるなど、補足説明を追加できないか。

施策 55：子育て家庭の支援

- ・学童保育事業の質を担保できていることを把握するための指標を検討してはどうか。また、これに伴い、主な事業に「学童保育事業」を残してもよいのではないか。
- ・母子自立支援プログラムの就労支援決定者数について、指標の内容がわかりにくいので、補足説明を追加できないか。

施策 56：地域の子育ち・子育て環境の充実

- ・次期計画においては団体の数に着目するのではなく、団体が実施している事業に対する参加状況の拡大（例：のびのびーのの登録利用者数）を測る指標のほうがよいのではないか。《今回は意見のみ》

施策 60：保健活動の充実

- ・指標名の「調整死亡率」の意味が分からない。また、率となっているが単位が「人」となっているため指標の説明が必要ではないか。

施策 64：わかりやすい情報発信と適正な情報管理

- ・実際にほしい情報に到達できたか、使った感想はどうであったかという市民目線の指標（アンケートなど）も、今後の課題として検討してはどうか。《今回は意見のみ》

施策 66：市民協働の推進

- ・研修だけでなく、各種団体が実施している講演・ワークショップ、イベント等に職員が気軽に参加できるような雰囲気にしてほしい。《今回は意見のみ》

～以上で会議終了～